令和 5 年 5 月 27 日
書記：有田　まどか

2024 年度　学校関係者評価委員会　議事録

【目的】
自己点検・自己評価の結果や意見やご提案を頂き、学校改善・改革に繋げる。

【日時・場所】
令和 6 年 5 月 27 日(月)　10：00～12：00
福岡ベルエポック美容専門学校 8 階 801 教室

【学校関係者評価委員】

高校関係者	田中　真太郎 様（九州産業大学付属九州高等学校 校長）
業界関係者	松田　秀則 様（Daisy 代表）
	矢田 綾香 様（一般社団法人 日本化粧品検定協会 顧問）
保護者代表	松田　玲子 様（美容師科 2 年生保護者）
卒業生代表	溝上　真 様（美容師科卒業生/ELIN 代表）
地域代表	春山　大輔（大浜自治協議会）

【本校委員】

学校長	田中 浩一
事務局長	佐藤 誠
教務部長	望月 健司
事務部長兼広報センター長	成本 佳樹
美容師学部長	水谷 将也
美容師科・ブライダルヘアメイク学科長	柴田 薫
ヘアメイク科学科長	岩永 宙也
ﾄｰﾀﾙﾋﾞｭｰﾃｨ科学科長	古閑 亮一
通信課程学科長	加藤 真也
高等課程美容科学科長	有田 まどか

【議事内容】進行：成本
1. 開会の挨拶：田中学校長

昨年の同評価委員において、新型コロナが 5 類となり世の中の流れや経済にも大きく影響が出てきている。経済活動の再開から新たな日常が生まれる中で、本校も教育目標達成のため、一丸となって学校づくりに努めていく。
～2023 年度の重点目標～
・新規スタッフの育成
・入学者の確保
・教育の質の向上

～2024 年度の重点目標～
・教育の質向上
・入学者目標達成
・スタッフ育成

学校にとって大切なのは 1 日の授業である。授業が魅力的で、学ぶ意欲を高める事が我々にとっての使命であり責任である。
今年度は、学生が主体的に学ぶ、能動的に学習できるアクティブラーニングの授業を強化し 4 つの信頼の構築に努めていく。

2. 委員会メンバー自己紹介
※学校関係者評価委員参照
田中学校長（高校関係者）
普通科・造形芸術科とあり、芸術的センスが非常に高い学校である。ベルエポックへの進学者は普通科からの生徒が多い。

松田様（業界関係者）
3 店舗サロン運営している。引き続き、天神と学校との懸け橋になれたらいいと思っている。

溝上様
3 期生卒業　天神今泉でサロン経営している。
学校と連携して美容業界からの意見等取り入れてもらい、更に業界として今の学生さんの事を勉強させてもらいたい。

松田様（在校生保護者）
美容師科 2 年保護者
2 年間学校に楽しく通っている。初めて会議に参加させてもらうが楽しみだ。

矢田様（業界関係者）
文部科学省認定 化粧品検定 58 万人を突破した。企業様 150 社　学校 170 校登録してくれているが、学校に貢献・還元できる時間にしていきたい。

3. 委員会の目的：佐藤局長
　※学校関係者評価委員会　（会議資料参照）
本日の大きな目的として、学校運営について組織的・継続的な改善や保護者・地域住民等から理解を得て学校作りをする事、教育水準の保証・向上を行うことで、職業実践専門課程として認定され、就学支援金等にも関係する。教育課程非常に大きな目的がある。
教育の質の向上を大きな目的に実施されるが、学校だけだと閉鎖的になってしまう為、開かれた場でたくさんの意見を頂き改善していく必要がある。
昨年度の振り返り（別紙会議資料参照）で各委員の方々に評価して頂き、カリキュラムに反映していきたい。
　目的：学校が継続的に運営できる為の会議である。
　　教育水準を高め、質の保証、担保に連動している。

認定の基準（会議資料参照）
専門学校は職業と直結している学びを提供している学科で構成されている。職業実践専門課程は平成 25 年からスタートしたが、本校は全学科認定されている。1 学科のみ卒業生が出ていないため、次年度実施予定。
全国で 6～7 割が認定を受けているが、認定条件として情報公開が義務付けられている。学園の財務状況や業界等からの意見・就職率や退学者数・すべて情報公開しないといけない為、審査・条件が厳しい。
～福岡ベルエポック美容専門学校～
・学科数：6 学科
　＊うち　専門課程 5 学科、高等課程 1 学科
　　15 歳から幅広い年齢層の学生が在籍している。

【5 ヶ年重点目標】
　志願者数 NO1 の学校となる
　　1：進級率 95%
　　2：専門就職率 100%を継続
　　3：1 年以内離職率 10%以内

【5 カ年目標達成状況：2023 年】

・進級率 84.2%

＊317 名中 267 名の進級

・専門職就職状況 100%

・2023 年離職率 6.9%

・入学者数：315 名（昨年 313 名）

【2023 年重点ポイント】

①スタッフ育成

学校運営には人材が重要である。

進級率 84.2%、就職希望者 146 名全員内定という実績を残したが、進級率にやはり課題があり、担任力やスタッフ育成に課題が残る。

②入学者確保

健全経営の為に目標達成・認知と接点強化・福岡地区グループ校との連携

実績：315 名

学科ごとに差があり、定員充足していない学科がある。

③教育の質向上

企業コラボ・天神・原宿・韓国との関係作り・ICT 教育・高等課程

業界コラボやトップゼミ等、業界の方に授業をして頂き最前線のプロから学べる環境作りはできている。(学内・学外問わず)

学校が楽しい・業界で活躍したいと思ってくれる学生の為に様々な事に取り組んでいく。

年間 500 件以上実施。

4.　2023 年度自己評価について

会議資料　１項目（理念・目的・育成人材像）

・事業計画を毎年作成し、しっかり財政基盤を安定させ目標を持って人材育成や組織運営を行っている。

・学園の理念浸透を軸に人材育成も含み学校運営をしている。

・地域密着の学校として単年度ごとに目標を立てている

会議資料　２項目（学校運営）

・事業計画（五カ年先と単年度の計画を立て育成人材像と組織運営を明文化している。

・滋慶学園は、全国に 80 校、　大学 2 校、　通信高校 1 校、　幼稚園・保育園も運営

している学園である。（福岡地区：8校）

会議資料　3項目（教育活動）

・授業計画書（シラバス）年間作成し、コマシラバスで1日の授業内容を後悔。
　＊シラバスで1年間どのような目標があり、どうなれるか、クリアする事でどうなれるのかしっかりと先を見せる。
　小テスト・中間テスト・定期試験で都度定着度をはかる。
・滋慶教育科学研究所での研修や勉強会に参加。

会議資料　4項目（学修成果）

横のつながりを生かし、就職・資格取得の向上を実施。
・国家試験対策センター
・キャリアセンター
・離職調査
・就職・卒後フォローにも力をいれている。

会議資料　5項目（学生支援）

・　学生サポート体制の充実
・　スクールカウンセラー（学生、保護者、担任）
・　慶生会クリニック（内科・歯科）
　＊　心身のケアを徹底する事で学ぶ環境を整えている。
・　キャリアセンター（就職・求人・産学連携）
　・研修（カウンセリング進路アドバイザー
　・フィナンシャルアドバイザー
　・学生寮
・研修を通じて学生サポート
　・キャリアサポートアンケート
　・学校生活不安・キャリア不安・生活状況の把握で安心な学びを提供。

会議資料　6項目（教育環境）

・施設など環境整備を計画的に行っている。
・安全管理の整備と訓練を実施している。防災訓練を実施した。(5/21　地震と津波訓練)
　博多湾に近いため、60センチ程度の津波が想定されるので3F以上に避難。災害後の行動が非常に重要で、保護者さまへ学生を無事に届ける事が大事。

会議資料　7 項目（学生募集と受入れ）

・法律に遵守した募集をしている。
　選考方法・学費等の明示、ルールの順守と行政・学園と相談しながら実施。

会議資料　8 項目（財務）

・5 か年の予算を組んでいる
・学園本部・理事会・評議会からチェックを受け運営している。
・情報公開も実施。

会議資料　9 項目（法令等の遵守）

・法令順守は本部を通じ行っているが、外部による監査実施。
・個人情報保護等に関しても学園と連携し情報公開も行っている。

会議資料　10 項目（社会貢献、地域貢献）

・職業体験フェスタ（500 種類の職種）
・ソフトバンクホークス（ボディペイント）
・着付やヘアメイクのボランティア
・1 人 1 花運動
・大浜地区との連携

～国際交流～

・韓国語講座
・韓国研修研成大学でも授業などを実施している。

今後の課題（2024 年以降 5 か年計画）

顧客満足 NO1 の学校となる。

①進級率 95%
②就職専門就職率 100%の継続
③1 年以内の離職率を 10%以内

そのために

・教育の質の向上
・入学者確保（教育の質向上から受験生・学校からの信頼を得る）
・スタッフ育成

5.　委員より

田中学校長（高等学校）

しっかりと自己評価法令に則って今回の会議は実施されている。
高校ではコロナ渦により高校 2.3 年生も 1 年生と比較すると非常に
コミュニケーションが乏しく感じる。それに比べ、高校 1 年生は、急激に制限が
なくなり、意識も上がり明るくなった。「話すな」「近寄るな」等で行事も出来なかった
背景を考えると仕方ない。専門学校にも後 2 年、このような学生たちが入学してくる。
先生方の研修等も実施されているとあったが、今高校では、多様性の子供たちを受け
入れるために、担任を 2 名配置し、W担任でしっかりサポートを行っている。
そこで重要になるのは、先生同士のコミュニケーションだと思う。
入学前にしっかり 1 年間のロードマップ用のシラバスを作成していると聞いたが、
重要なのは 3 年間のロードマップだと思う。生徒も保護者も私たちも、共通理解の
中で教育を実施していく事が重要。
大学に進学すれば、大卒という肩書があるが、専門学校を卒業して就職しなかった場合
高卒と同様。
離職は 3%だが、入学してからの 2 年間で社会にどうやって貢献したいのか、何を
やりたいのかをしっかり考え教えていく事が大事。ただ就職させて終わりだと何の
意味もない。就職に関しても、入学してからのロードマップが必要である。

松田様（業界）

近年の美容学生の傾向として、デビュー・スタイリストまで何年かかりますか？と
質問されるが事が増えてきた。
「早期育成・時間育成」
サロンによって様々な意見・考え方があり正解がない。業界としても受け入れる
学生さんたち 1 人 1 人に対してどんなプランを提案するか？個別で考える必要が
でてきた。入社前にどんな美容師？どんなスタイリスト？と目標や将来を考えさせて
美容学校でヒアリング。在学中にその目標に向け 1 人 1 人のカリキュラムや教育を
実施する事で、サロン側としては実践的で生産性の高い学生が入社し、給料やレッスン
時間等も還元する事ができるようになる。サロンにより求める力に違いはあるが、美容
学校の期間でどこまでレベルアップできるのか？を考えてほしい。入社して 3 か月後、
1 年後何を目標とするのかを早い段階でキャッチする事で、不満がポジティブに変化
する事もある。スタッフの年齢層の幅が広くなる事でコミュニケーションがなかなか
とれにくくなっていく為、こまめな声掛けや環境つくりにもサロン側は力をいれて

いる。

溝上様（卒業生）

専門学校を卒業して１年以内の離職に対して、学生の問題もあるが、受け入れるサロン側としても近年意識の部分で大きく変化してきている。思っていたのと違うという声が上がることがあるが、入社前にレッスンを実施する事で、入社後すぐに入客できるシステムを入れている。１年たつ頃には、カラー入客でデザインさせたりしている。こちらが先回りして夢を叶えてあげる事が大事である。専門学校に入学して１年もたたず辞めてしまう学生に関して、入学が決まってからのコミュニケーションがしっかりとれていたのか？高校生の間に、どんなことをしたらいいのかという話をしているのか？学校に通うことが当たり前だとか、挨拶に力をいれてしっかりするなど、何を目標に残りの期間を頑張っていくのか、入学前からしっかり話したりすることで１年生でやめてしまう学生も減っていくのではないか？

田中学校長（高等学校）

大学や短大は近年、合格した生徒に対し、大学側がしっかり課題を出してくれるので、本当にこの学校でよかったのか？など考えるきっかけになり自分に合っているのか？マッチングに繋がっている。

松田様（在校生保護者）

保護者としては自分の子供は、大学に行くのが普通の流れだと思っていた。美容学校に進学したいと言われた時に正直驚いた。高校の先生は、専門学校からの就職は離職が高く、就職しても続かないと言われていた。大学に行くのが当たり前だと思っていたがオープンキャンパスに参加して気持ちが変化した。業界コラボや入学式でも驚く事がたくさんある。大学生に入学してから何をしたらいいか悩む時期だが、本人は夢を明確にもって専門学校進学を決め、今現在毎日楽しんでいる。大学に進学もいいが、将来何をしたいのかをある程度見定めていき学校を考えるという新しい進路選択の気付きを娘から学んだ。中学校からも進学できる機会があるという学科も、中学生に教えてあげられたらいいと思う。

矢田様（業界）

今のＺ世代は、タイムパフォーマンス重視型である。昔音楽は平均４分位だったが、今の子供たちは長く同じことを続けられない。

進級率 95%とあるが、今は自分がやっていることが違ったのかもしれないと、早めに違いに気が付く子供たちが多い。なんでも早め早めに自分のやりたいことを優先して

動く子供たちも増えた影響からか、化粧品検定登録も高等学校の導入が最近増えている。専門学校を卒業後、美容師やネイリストなどの技術職だけではなく、ＰＣサイトの事務職やディーラーの営業、学校の先生などの幅広い将来を見せていく事も必要である。

7.　閉会の挨拶

それぞれの意見をしっかり聞けたいい機会でした。
少しでもいい学校になれるよう、4 つの信頼を回復出来るように頑張っていく。